

# 町田市議会 会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
(町田市庁舎 3F)  
☎042-724-2171  
「無所属」会派室



## 工芸館建設入札が2度不調の緊急質問

(仮称)町田市国際工芸美術館の建設契約は2度にわたって不調になったこと、その影響、今後の取り組み方針に関して、無所属会派の新井よしなお議員が定例会最終日に本会議で緊急質問を求める動議を文書で提出(会派総意)しました。会期中の一般質問の答弁と事態が変わったための質問です。



写真は「無所属会派」の視察時のものを使用

議会運営委員会の判断は、所管の常任委員会で「行政報告」が行われているという理由で、質問の発言要求には反対の意見が多く、多数決が図られ、否決となりました。委員会では市長などの理事者は出席しない原則であり、議員も所属議員だけが参加するもので、本会議と目的も違っています。本会議の一般質問や緊急質問では、議員が考える解決案の「提案」も含まれるものです。議会運営の扱いルールで緊急質問を取り下げるという扱いになり、何も存在しなかったという経過になりました。

果たして、市民からの建設反対の意見も多く、建設を請け負う業者からも敬遠される(仮称)町田市国際工芸美術館の建設はどうなるのかと思いますが、最悪の事態は、市外業者が随意契約で受注し、のちのち費用が追加されることでしょう。(参考写真:協同した調査活動時の撮影)

## 中学校の修学旅行日程と高校文化祭開催

秋(9月)には町田市内公立高校の文化祭がそれぞれに開催されます。土・日の2日間開催されますが、その在校生と卒業生、あるいは家族が訪れますが、他方で、各高校には対象の高校に関心を持つ中学3年生が時には親を伴って訪れます。自分がどこに進学するべきかの選択をして、受験するわけであり、その前にどの高校が自分に相応しいか、あるいは相性が良いかを判断するのですが、ペーパーやネットを見るだけでなく、自分が直にその高校を見る機会となっているのが高校文化祭です。中学生やその親の世代を含めて、それぞれの高校の校風や関心の向きを見定める場面となっています。

町田市の公立中学校は全部で20校ありますが、半数は秋の旅行日程が組まれ、高校文化祭と重なる学校があります。その日程希望は校長会でまとめ、東京都全体で調整され、具体的な割り振りは旅行会社が配分しています。今年の日程を見ても、9月の土・日を含むものがあり、時期を若干ずらすか、土・日のいずれかを外すスケジュールに変更できないかと求めたものです。



高校の文化祭には、  
中学生やその親も大勢見学に訪れる

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、会派「無所属」は自由に賛否を決める場合もあります。

◎住民請願は事務局に提出、相談して下さい。署名が必要なものは、会派に連絡して下さい、

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田 つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

町田市議会議員

会派「無所属」に所属

## 吉田 つとむ

自宅 042-795-7361(TEL&FAX)

yoshidaben@gmail.com



## 津市フレイル予防栄養パトロール事業

平成の大合併で面積:711.19 km<sup>2</sup>(町田市:71.55 km<sup>2</sup>の10倍)になった三重県津市は、旧来の町村エリアにも保健センター・保健師の配置を維持し、高齢者の健康事業を図っています。その事業の中心が、津市フレイル予防栄養パトロール事業です。\*「フレイル」とは、加齢とともに筋力や認知機能が低下し、生活機能障害や要介護状態の危険性が高くなった状態と説明されました。



地域担当医療専門職(保健師、管理栄養士、歯科衛生士)がハイリスクアプローチ(検診でチェックし、抽出する)+ポピュレーションアプローチ(出前や広報による啓発活動)するものです。利用者の増加があつて、行政が行っている事業を高齢者自身や、ヘルスボランティア(健康づくり推進員、食生活推進員)の変換が重要で、それらの人が啓発事業を展開するサロンリーダーをつくる としています。外部に人出を求めるのは、今後の子育て促進事業の拡大で、子ども部門に職員が大勢移動することが必要とされるためであり、無償民間ボランティアの有償化が早急に検討されるべきものだと思います。

## 瀬畑亮氏のセロテープ®アート展を鑑賞

### 世界で唯一のセロテープを使った彫像作品

横浜の有名画廊で瀬畑亮氏のセロテープ®アート展を鑑賞。瀬畑氏は大学卒業後からアーティスト活動25周年となりますが、プロの芸術家としては若い世代でしょう。大学は、地元の東京造形大学(町田市相原町)卒で、現在まで町田市市内に居住され、自宅でアトリエを開かれています。

この間、セロテープを製造するニチバンの協力があつて、多数のセロテープを使った彫像を製作されており、各地の公営美術館でも展覧会が開催されていますが、町田市市内での開催が一度も無いことを不思議に思っています。



瀬畑亮さんが、横浜で開催のセロテープアート®展を語る2023.06.23

この間のコロナ拡大の影響で芸術家が活躍する場に制限が見られましたが、瀬畑氏も同様であったそうです。その反面、コロナの3年間に大作に打ち込み、今回の展覧会のメイン作品でもある、8m×3.5mのカラーセロテープでバックパネルを作り、子どもの人形とオブジェを用いた「With コロナ時代」は圧巻でした。この作品だけでも、多くの人に見てもらう機会があつてほしいと願っています。

◎町田市議会の所属委員会や個別の会派では、それぞれに行政機関や他の議会を対象にした地方視察を行っています。上記の掲載する記事は、それらと異なり、個人で民間の展覧会や公的施設に直接申し込みを行い、現地見学したものも含んで掲載しています。

◎これらの個人で行った見学・インタビューも、議会の一般質問や質疑に活かしています。

# 町田市議会 会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
(町田市庁舎 3F)  
☎ 042-724-2171  
「無所属」会派室



会派室で打ち合わせ中

## 川西町の災害復旧と町田市の支援活動

山形県川西町は町田市とダリア園を通じた交流があります。その川西町は、昨年8月の台風で大きな災害を被りました。大量の雨が降ったことで水害が発生したもので、2千戸にも上る住宅地に全壊・半壊や浸水などの重大な被害をもたらしました。町田市はその川西町と災害時相互応援協定を結んでおり、依頼を受けて災害出動を行っています。内容は「ごみ収集作業」(環境資源部)と「建物の被害認定調査等」(財務部)の担当で、数週間の期間、人員と車両を派遣しています。こうした協定による応援は、長野市の水害時にも同様な人員と車両を派遣しています。\*阪神大震災時には、大勢の負傷者が発生し、その治療応援のため神戸市民病院に、町田市民病院の医師・看護師の派遣も実施しました。

川西町の水害では、道路や橋梁の被害も大きく、1年を経過した段階でも復旧を終えておらず、道路の整備、橋の架け替え工事が進められている段階でした。「無所属」会派では、町田市の支援内容を現地で確認することと、災害復旧工事の進展状況、被害を受けたダリア園の復旧状況の現地視察を行いました。



## 公立小中学校統廃合反対の理由

今年度、毎議会で、学校統廃合の再考を求めるに関する住民請願が続出しています。結論を言うと、そのこれまで全部が不採択(否決)となりました。「無所属」会派では、それぞれに分担して紹介議員にもなっているので、これまでの会派全員で請願全部に賛成しました。町田市教育委員会と町田市は、今後町田市の人口が減っていくものとして、3-4クラス編成を前提にした学校の統廃合を進めており、各地で学校統廃合が現実問題として出てくるでしょう。第3定例会にも、議会全体の立場の変更を求めて住民請願が出てくるのではないのでしょうか。

他方で町田市は人口増の施策として、多摩都市モノレール延伸、小田急多摩線延伸を重要施策として進めています。併せて、中心市街地の改修を想定しています。それらの成長政策がどこまで本気か不明ですが、JR東海が自力で進めるリニア中央新幹線工事が本格化し、2030年の初頭には相模原市橋本にリニア駅ができ、近隣の交通ネットワークが大きく変容していきます。そうした町田市を取り巻く社会環境の変化も前向きに注視するべきだと思っています。



◎一般質問は、議員個人と行政のやり取りです。石坂市長の時代になって本人が答弁をせず、決して好ましくはありませんが、部長のみが答えるケースが増大しています。

会議における行政の発言は、部長答弁としても市長の責任が無くなるものではありません。

町田市議会議員・情報公開の街

# 吉田つとむ

交通文化都市・4期連続トップ当選



左上 blog



右上 HP

下左 Mail



## 食品輸出の展示会：日本の食品輸出 EXPO

東京ビックサイトに出向きました。数百のメーカー、商社、輸出関連団体が展示会に出展しており、日本の食品輸出 EXPO の各コーナーを見てまわりました。



もちろん、輸出と言う面から加工品のメーカーの割合が多かったのですが、大手ハム会社のような全国ブランドの企業もあれば、地域の特産品を出展するものも広範囲に並んでいます。あるいは、超大手企業の関連会社が新たに食品輸出を手がけるケースもありました。

この日は、商品の貿易を前提にした海外からの来訪者がとても多くなっていました。街でも訪日外国人が目立っている姿をさらに印象付けるものでした。展示会場は、具体的な商談の場になっていました。随所に商談のコーナーが設置され、席が埋め尽くされていました。また、販売サイドに少なからずの外国人の方が働いていました。中国、韓国の人に限らず、欧米人、東南アジアの人が日本企業で働くケースが増えてきた模様でした。会場の規模、人の流れから、1万人を超える人が集まっているようです。食品で言うと、日本は圧倒的に食料輸入国ですが、こうした海外輸出をめざした企業の事業も十分にやっつけられる姿を見出しました。

## 町田市民病院の新規設備拡充

所属する健康福祉常任委員会の中で、市民病院より、高度治療室 (HCU) が本年度より12床開設したことが紹介されました。

大きな病院では、集中資料室 (ICU) とする施設が話題になりますが、この両者の大きな違いに、看護師の人数配置数の相違があります。集中資料室 (ICU) が患者2名に対して1名の看護師を必要としますが、高度治療室 (HCU) では患者4名に対して1名の看護師を配置する割合になっているとのことでした。この高度治療室 (HCU) が新設されたことで、これまでの ICU 患者の一部を HCU が受け入れたり、一般病棟の重症者を受け入れることが可能になり、町田市民病院の ICU 機能の軽減をもたらすことが可能になるという説明でした。



これから、夏季の気温上昇が見込まれる中で、熱中症患者等の増大も懸念されますが、町田市民病院の ICU と HCU の両機能が効率的に発揮されるならば、救急車の受入が改善されることにもつながり、市民の安全・安心の拡大につながるものと期待されます。第3回定例会では、その実績の説明があるでしょう。

◎ インターンシップは、本会議や委員会の会議を身近に傍聴したり、行政機関の仕事・施設を訪ね、見学・インタビューできる日程を組んでいます。また、民間企業の経営者の方や過去のインターン体験者の話を聞ける機会も設定しています。